

学校運営協議会議事録

校名	府立泉陽高等学校
校長名	栗山 悟

開催日時	令和7年 5月22日(木) 15:10～16:15
開催場所	泉陽高等学校校長室
出席者(委員)	瓜生彩子委員長・岡本雄介副会長・福井 隆一郎委員 志賀亮子委員・江本真樹子委員
出席者(学校)	栗山校長、荒木教頭、明山首席、藤林首席、野坂教務部長、中尾総務部長
傍聴者	0名
協議資料	80期生アンケート分析結果、入試改革への対応、広報改革
備考	

議題等(次第順)

- 令和6年度 学校評価/令和7年度 学校経営計画
 - ・国際交流の推進(姉妹校提携)を検討中
 - ・国や府の動きとして普通科改編の流れがあることが示された(春日丘高校・狭山高校が現在改編中)。
- 学年・分掌より報告
- 令和7年度新入生及び保護者対象アンケート
 - ・入学希望者:学校のイメージ「楽しい」「自由」、志望理由は「校風」「立地」「文化祭・体育祭の雰囲気」が上位。昨年度よりも校風の評価が向上。
 - ・保護者:受験理由は「本人の学力に合う」「通学の便」など。期待することは「進路実現」が最多。情報源は学校説明会、HP、口コミが中心。
- DXの取組について
 - ・昨年度に続き今年度も継続。500万円の予算が確保され、STEAM教育(デジタルアート、アプリ開発、スポーツ分析等)に活用。
 - ・今後の課題は地域連携・外部コンテスト参加・専門家の助言による質の向上。

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 「府立高校改革グランドデザイン」(大阪府教育庁 令和7年3月)について
～泉陽高校が目ざす学校づくりはどうあるべきか
- 大阪府による高校改革と学校特色枠の導入について
 - ・校長より、府の高校改革(教育内容・入試・広報の3本柱)について説明。
 - ・春日丘高校・狭山高校の普通科改変(大学連携、地域連携)の紹介。
 - ・令和10年度入試から「学校特色枠」を導入予定。
 - ・現在のアドミッション・ポリシー(生徒会活動、ボランティア、スポーツ等で努力している生徒)を踏まえた選抜内容を検討・周知予定。
- 委員からの意見・懸念点
 - ・学力評価の扱いや公平性、特色枠に適した生徒像の明確化の必要性が指摘された。
 - ・中学校成績に不安がある生徒の受け入れ、AO入試との類似性、特色枠の選抜内容、カリキュラムとの整合性等、多岐にわたる意見が出された。
- 広報活動に関する意見
 - ・SNSを活用した情報発信の強化について生徒主体のSNS発信(例: SNS部など)の提案。
 - ・食堂のメニュー紹介等、日常の学校生活の様子わかる記事の発信。
 - ・ハッシュタグの活用や保護者層へのアプローチが重要である。
 - ・学校側による発信内容の確認の必要性和タイムリーな話題を提供できる体制の構築についての意見。

次回の会議日程

日時	令和7年10月26日(木) 14:00～(予定)
会場	泉陽高等学校 校長室